

【募集要項】

ポストドクター（科研費特別推進研究）の雇用

雇用期間：

2024年6月1日以降の可能な限り早い日付～2025年3月31日
（但し最長で2028年度(2029年3月末)まで更新の可能性あり）
※着任日の詳細についてはご相談ください。

勤務地：

明治大学中野キャンパス（東京都中野区中野）

プロジェクトの説明：

「サピエンス数理先史学 —新人拡散にともなう文化進化モデリング」

（領域代表：東京大学 西秋良宏）。

本プロジェクトは、人文社会系研究には無縁と思われがち数理科学を考古学分野に導入し、「数理先史学」という新たな学術領域を開拓、推進することを大目標としています。そのケーススタディとして、新人（ホモ・サピエンス）のユーラシア拡散、旧人（ネアンデルタール人ら）との交替劇を数理科学で説明するという課題を取り上げます。

本プロジェクトは2024年4月現在、考古から2名、数理から2名、年代・古気候から1名、民族誌データから1名の体制です。

数理側のうち若野（明治大学）の拠点では、以下のような内容でポストドクを募集します

。

業務内容：

文化進化に関する数理モデルを用いた理論研究

本プロジェクトの一つの柱となる反応拡散系を用いた数理モデル研究については、こちらのネット記事も参考にしてください。

<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20210114-1644627/>

データベースの統計解析、大規模シミュレーションなどもプロジェクトの重要な柱ですので、こちらを希望される場合も気軽に相談ください。

処遇：

勤務地の規定に準じる

健康保険・厚生年金・失業保険の各種社会保険完備

（詳細は応募者に個別に説明）

勤務形態：

常勤

その他明治大の規定に準ずる

応募資格：

文化進合理論、数理生物学、集団遺伝学、応用数学（反応拡散系・確率過程・統計解析）、理論考古学、進化心理学などのいずれかの分野で研究業績をあげており、博士の学位を取得していること。

考古学についての前提知識は問いませんが、本プロジェクトの趣旨に賛同し、文理をまたいで他分野の研究者と積極的に交流できる意欲をもっている方を募集します。

募集人員：1名

応募締切：4月26日（金）

ご関心を持たれたかたは、まずはお気軽に下記メールアドレスまでご連絡いただければ幸いです。詳細な情報を提供いたします。

そのうえで、応募を決心して頂いた方は、

- (ア) 履歴書（メールアドレスと昼間連絡のつく電話番号を記載、様式自由）
- (イ) これまでの研究・教育業績一覧（様式自由）
- (ウ) 主要論文1編の別刷り（コピーやPDFも可）
- (エ) これまでの研究の概要（2ページ以内）

を

電子メールで

明治大学 総合数理学部 現象数理学科
若野 友一郎
joe@meji.ac.jp

に、件名（Subject欄）を「特別推進ポスドク応募」として、添付ファイルにてお送り下さい。

当方からの受領確認のメールをお送りしますので、必ずご確認ください。

応募書類ファイルは選考のみに使用し、当方で責任を持って破棄します。

備考（2024/03/19）：

本プロジェクトは、2024年4月からスタートします。4月以降、ホームページや公表用資料などが随時公開されていく予定です。